

ニーズ調査に対する意見と対応

NO	調査票の種類	ページ	該当箇所	意見	事務局回答	対応
1	全般			<p>富津市の子ども・子育ての支援計画について、平成27年4月から始まる新制度下における事業量把握と体制整備をどうするかという狭義の計画が一つです。こちらは、認定こども園や小規模保育、家庭的保育等の配置のありようや利用条件を明確化するための作業であり、平成27年4月に間に合うようにという待ったなしの作業です。</p> <p>もう一つは、こちらが本来本命にならなくては思うのですが、広義での富津市の子ども・子育て支援のありようです。</p> <p>任期は2年と限られていますが、せっかく子ども・子育て会議が設置されたわけですので、この会議を活かして子育て支援のありようを、多方面から意見を聞いて形にしていけると良いと思います。(次世代育成支援行動計画との擦り合わせも必要です。)</p>	<p>新制度への対応が急務ですので、まずは事業が円滑に実施されるよう取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>また、平成26年度で終了する次世代育成支援対策推進法が延長された場合、次世代育成支援行動計画を子ども子育て会議にて審議していただくことも考えられます。</p>	—
2	就学前	2	用語の定義	幼児期の学校における教育⇒幼児期における教育	修正いたします。	修正
3	就学前	4	問10	自由記述となっているが、まずは具体例をいくつか挙げて、自由記述にして欲しい。 (具体例 乳幼児全戸訪問事業、子育て支援情報)	具体例を挙げてしまうとそれらに偏る回答となってしまう可能性があります。	原案のとおり
4	就学前	7	問14-1	4の自治体の認証・認定保育施設の記述が分かりにくいのではないかと。	富津市の認証・認定保育施設に限ったものではなく、他市の施設をも想定しています。分かりにくい選択肢とも思えますので、4については削除し、「5.その他」に記入してもらうことで対応します。	修正

NO	調査票の種類	ページ	該当箇所	意見	事務局回答	対応
5	就学前	9	問15	4の認定こども園が分かりにくい。括弧書きで幼保の機能を併せ持つと説明されていますが、利用者の実態は幼稚園と保育園の違いがはっきり理解できていないのではないかと。	認定こども園についての説明については、用語の定義でも規定されており、現行のままとします。	原案のとおり
6	就学前	9	問15	幼稚園と保育園、ファミサポの利用料が載せてありますが、認定こども園の料金が載っておらず、わからないかもしれませんが、均衡を欠いています。ここで載せるならば保育時間でしょうか。	利用料金や時間は、施設で決定しているものであり、近隣に幼保連携型の子ども園がないため、目安となるものが提示できません。	原案のとおり
7	就学前	10	問18	公私立保育園で行っている公開保育を入れて欲しい。	追加いたします。	修正
8	就学前	追加	追加	富津市の目玉として、-1歳のマタニティ時代を入れて欲しい。マタニティ時代を振り返ってどんな支援があったらよかったかという聞き方でも良いかと思えます。	問30の次にご意見のあった設問について、追加いたします。	追加
9	小学生	追加	追加	小学生になると親の気持ちと子どもの気持ちに違いが出てくると思えます。子どもがどう過ごしたいのかという内容が聞けたら小学生への対応の幅が広がるのではないのでしょうか。	今回の調査は、保護者に依頼するものであるため、ご意見の設問を追加することは難しいと思われると思います。	追加なし
10	小学生	追加	追加	「子育てを相談できる人はいますか」と就学前の設問にはありますが、小学生の方にはありません。子育て相談をしたいのは就学前だけではないと思えますので、そのような設問を追加してもよいのではないのでしょうか。	問6の次にご意見のあった設問について、追加します。	追加